

1 概要

1) 理念と目的

産業生態科学研究所 所長 堀江正知



産業医学は、医学をはじめ工学、行動科学、心理学などの学際的な科学を基盤にして、職場環境や労働条件によって生じる有害な健康影響を防ぐこと、働く人々の就業適性を確保すること、健康を増進させることを目的に、就業現場で実践される科学です。

産業生態科学とは、産業医学の考え方を集団や組織に適用して、常に変化する産業社会において働く人々のよりよい生存と自己実現を図る新しい科学を創造することをめざして、研究所の名前として採用された言葉です。

産業生態科学研究所（産生研）は、産業医学の研究、教育、国際協力を推進します。

産生研は、基礎的研究から職場で利用される技術や実務上の指針の開発まで職業や環境に関する先進的で幅広い課題の研究を推進します。産生研は、産業医科大学の卒業生と連携しながら世界で最先端の課題に取り組みます。産生研は、社会制度や現場の実態を正しく理解し、基盤科学や専門分野が異なる分野の研究者が学際的に協力することによって、現場の課題を解決するための研究を実践します。

産生研は、産業医学に関する包括的で専門的な教育を推進します。産生研は、産業医学に関する専門知識を修得しているだけでなく直面する課題を自ら解決するための科学的な研究手法も修得している優れた産業医を養成するための教育を実践します。

産生研は、産業医学の共同研究と人材育成に関する国際協力を推進します。アジア諸国を中心に諸外国と研究者の受け入れや派遣を進めるとともに、高速通信回線で画像やスライドを外国と送受信する遠隔教育の手法を用いて、産業医学の普及のための国際協力を実践します。

2) 沿革

昭和 53（1978）年、産業医学の振興と優れた産業医の養成を目的に産業医科大学が開設された際、医学部に労働衛生工学及び人間工学の 2 講座が設けられました。

昭和 59（1984）年、医学部第 1 回生が卒業した際、産業医学基本講座が開講され、同年開設された大学院医学研究科に、臨床疫学、環境疫学、環境中毒学及び応用生理学の 4 研究室が設けられました。

昭和 61（1986）年、専門的な産業医学の研究と専門的な産業医をめざす医師の卒後教育を目的に、産業生態科学研究所（産生研）が設置され、前出の 6 研究室が移設されました。

昭和 62（1987）年、産業保健管理学的研究室が増設されました。

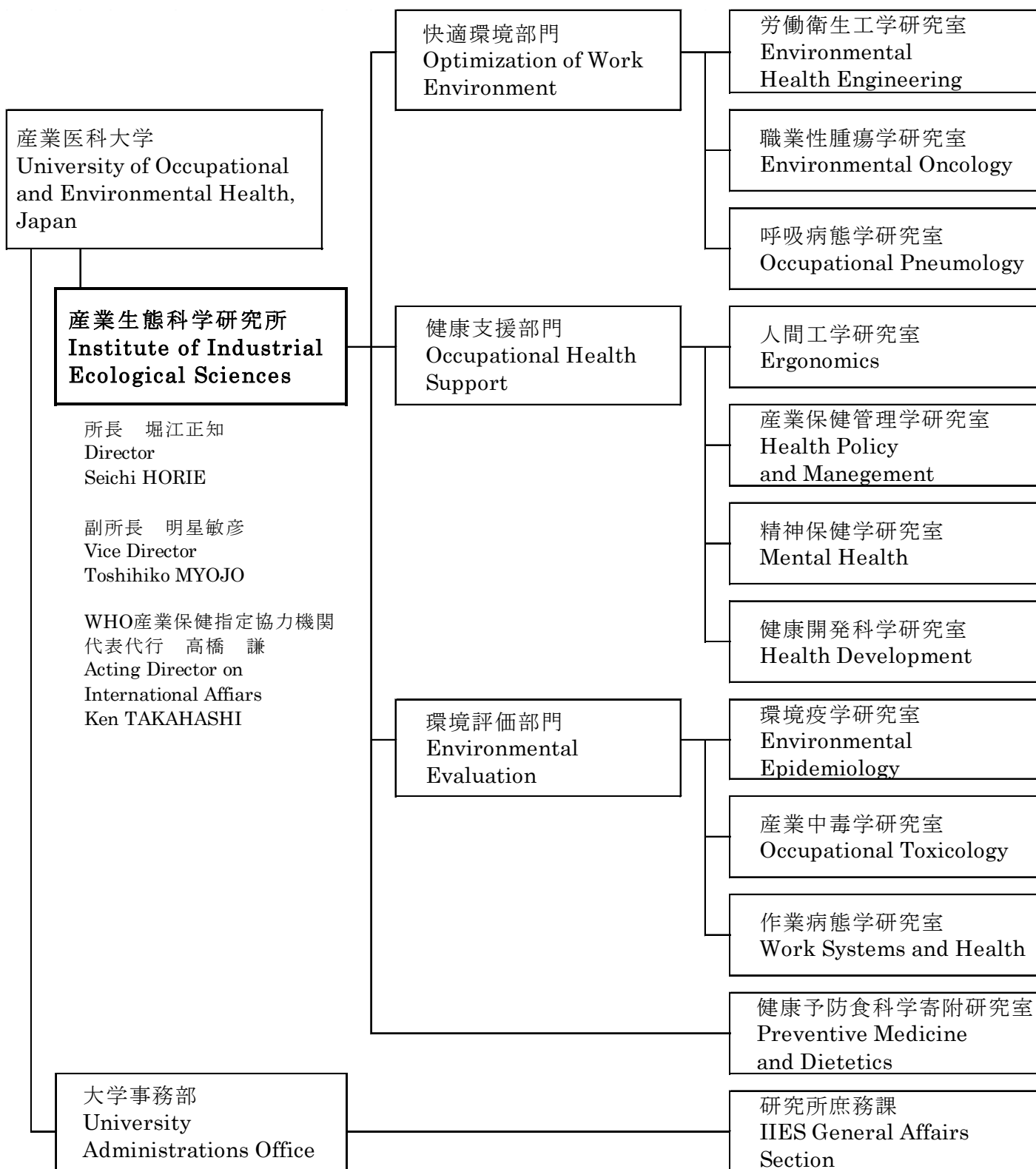
平成 3（1991）年から平成 6（1994）年には、産業医学を構成する科学分野の充実を図るために、産業保健経済学、健康開発科学、精神保健学、作業病態学、職業性腫瘍学、呼吸病態学（当時、呼吸病態生理学）の 6 研究室が増設されて 13 研究室となりました。

平成 16（2004）年、大学全体で組織の効率化が進められ、臨床疫学、応用生理学、産業保健経済学の 3 研究室が閉止されました。

平成 21（2009）年、大規模な研究の推進に備えて、10 研究室を快適環境、健康支援、環境評価の 3 部門に分類しました。

これまで、産生研は、医学部、産業保健学部、産業医実務研修センターで実施される産業医学の講義や実習を受け持ち、平成 1（1989）年に開設された卒後修練課程の産業保健研修コース（A コース）を担当するなど、産業医学の教育も行ってきました。また、昭和 63（1988）年に世界保健機関（WHO）の産業保健分野の協力センター（WHOC）に指定され、昭和 60（1985）年から毎年連続して受託している国際協力機構（JICA）の集団研修コースを実施し、韓国、中国、台湾、ベトナム、フィンランドの研究所と国際交流協定を結ぶなど、国際的な研究協力と人材育成に貢献してきました。現在、産生研は、ナノ粒子、アスベスト、高齢労働者を主要な研究課題として掲げ、平成 24（2012）年に設置される予定の専門職大学院での教育を担当するための体制を整えています。

3) 組織



4) 職員

教授 Professor

明星敏彦	Toshihiko MYOJO	労働衛生工学	Environmental Health Engineering
葛西 宏	Hiroshi KASAI	職業性腫瘍学	Environmental Oncology
森本泰夫	Yasuo MORIMOTO	呼吸病態学	Occupational Pneumology
神代雅晴	Masaharu KUMASHIRO	人間工学	Ergonomics
堀江正知	Seichi HORIE	産業保健管理学	Health Policy and Management
廣 尚典	Hisanori HIRO	精神保健学	Mental Health
大和 浩	Hiroshi YAMATO	健康開発科学	Health Development
高橋 謙	Ken TAKAHASHI	環境疫学	Environmental Epidemiology
東 敏昭	Toshiaki HIGASHI	作業病態学	Work Systems and Health

准教授 Associate Professor

河井一明	Kazuaki KAWAI	職業性腫瘍学	Environmental Oncology
大神 明	Akira OHGAMI	呼吸病態学	Occupational Pneumology
泉 博之	Hiroyuki IZUMI	人間工学	Ergonomics
井上仁郎	Jinro INOUE	産業保健管理学	Health Policy and Management
パク ユンキ	Eun-Kee PARK	環境疫学	Environmental Epidemiology
井手玲子	Reiko IDE	作業病態学	Work Systems and Health
徳井教孝	Noritaka TOKUI	健康予防食科学	Preventive Medicine and Dietetics

講師 Assistant Professor

太田雅規	Masanori OHTA	健康開発科学	Health Development
大藪貴子	Takako OYABU	労働衛生工学	Environmental Health Engineering

助教 Research Assistant

李 云善	Yunsan LI	職業性腫瘍学	Environmental Oncology
樋口善之	Yoshiyuki HIGUCHI	人間工学	Ergonomics
川波祥子	Shoko KAWANAMI	産業保健管理学	Health Policy and Management
真船浩介	Kosuke MAFUNE	精神保健学	Mental Health
江口泰正	Yasumasa EGUCHI	健康開発科学	Health Development
ヴァンヤ デルジェルマ	Delgermaa VANYA	環境疫学	Environmental Epidemiology
ウィルソン ドナルド ジョン	Donald John WILSON	産業中毒学	Occupational Toxicology

事務職員 Clerical Staff

鎌田敏朗	Toshiro KAMADA	研究所庶務課	IIES General Affairs Section
福原武年	Taketoshi FUKUHARA	研究所庶務課	IIES General Affairs Section
小松原敦子	Atsuko KOMATSUBARA	研究所庶務課	IIES General Affairs Section
山崎小由美	Sayumi YAMAZAKI	労働衛生工学	Environmental Health Engineering
廣橋雅美	Masami HIROHASHI	呼吸病態学	Occupational Pneumology
松波美穂子	Mihoko MATSUNAMI	人間工学	Ergonomics
岩尾理恵	Rie IWAO	産業保健管理学	Health Policy and Management
水上幸子	Sachiko MIZUKAMI	精神保健学	Mental Health
尾前知代	Sachiyo OMAE	健康開発科学	Health Development
二宮江理香	Erika NINOMIYA	作業病態学	Work Systems and Health